

令和7年度(2025年度)用

中学校国語科書写用

「新編 新しい書写」
年間指導計画作成資料
【1年】

令和7年(2025年)1月29日版

※単元ごとの配當時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

「新編 新しい書写」(第1学年)年間指導計画作成資料

月	単元名 <教材文字>・ 教科書ページ・用具 (他は他教科との関連)	単元の目標・ 学習指導要領との対 応「知識及び技能」	時数	学習活動例	観点別評価規準
	文字を「書く」って、なん だろう 表紙裏-p.1	◎手書きで文字を書 く場面や、その意 義について考える ことができる。	適宜	①日常生活で文字を書く場 面を振り返り、「書くこ と」について考える。 ②考えたことを共有する。	【主】 ○積極的に文字を書く場面を想起 しようとし、手書きの意義につ いて話し合っている。
1 はじめに					
4	これまで学んできたこと p.6-7	◎小学校での学習を 振り返り、文字を 書く際の基本事項 を確認することが できる。 (3) エ (ア)	1	①小学校で学習したことを 振り返る。 ②文字を整えて書くための 姿勢、筆記具の名称・使 用方法・持ち方を確認す る。 ③基本の点画の書き方を確 認する。 ④字形と配列を整える書き 方について確認する。	【知・技】 ○小学校での学習を振り返り、文 字を書く際の基本事項を理解し ている。 【主】 ○進んで書くときの姿勢、基本点 画の書き方などを振り返り、文 字を書く際に生かそうとしてい る。
	姿勢と筆記具の持ち方 p.8-9 [用具] 鉛筆・毛筆				
	基本の点画の書き方 p.10-11 [用具] 毛筆・鉛筆				
	字形と配列を整える書 き方 p.12-13 [用具] 鉛筆				
2 読みやすく書く——楷書					
4 5	点画の書き方と字形の 整え方 <大志> p.14-15 [用具] 毛筆・鉛筆	◎点画の書き方と字 形の整え方を理解 して書くことがで きる。 (3) エ (ア)	2	①字形の整え方について話 し合う。 ②「大志」に出てくる点画 の種類と、その書き方に ついて話し合う。 ③毛筆で書いて、点画の書き 方と字形を確かめる。 ④「書写のかぎ」を生かし て、硬筆でほかの文字を 書く。 ⑤自己評価・相互評価をす る。	【知・技】 ○点画の書き方と字形の整え方を 理解して書いている。 【主】 ○進んで点画の書き方や字形の整 え方を理解しようとし、「書写の かぎ」を意識して書いている。

	<p>[文字といっしょに] 手書き文字と活字 p.16-17</p> <p>他国語</p>	<p>◎手書き文字と活字の 違いについて知 り、文字文化への 関心を高めること ができる。 (3) エ (ア)</p>	<p>適宜</p>	<p>①手書き文字と活字の違い について考える。 ②よく使われる活字の特徴 について知る。</p>	<p>【知・技】 ○手書き文字と活字を比較し、それ ぞれに違いや特徴があることを理 解している。 【主】 ○進んで手書き文字と活字の違い を知ろうとし、身の回りの文字 に関心を広げようとしている。</p>
5 5 6	<p>仮名の書き方と字形 p.18-19 [用具] 毛筆・鉛筆</p>	<p>◎仮名の書き方と字 形の特徴を理解し て書くことができ る。 (3) エ (ア)</p>	1	<p>①平仮名を整えて書くとき に気をつけることを考え る。 ②平仮名の書き方や字形で 気をつけることを「書写 のかぎ」で確認する。 ③教科書の文字をなぞった り書いたりして、平仮名 の特徴を確かめる。 ④「書写のかぎ」を生かし て、硬筆で平仮名の文字 を書く。 ⑤自己評価・相互評価をす る。</p>	<p>【知・技】 ○仮名の書き方と字形の特徴を理 解して書いている。 【主】 ○進んで仮名の書き方や字形の特 徴を理解しようとし、「書写のか ぎ」を意識して書いている。</p>
6	<p>文字の大きさと配列 〈夏山の緑うつりし小窓か な〉 p.20-21 [用具] 小筆・鉛筆</p>	<p>◎適切な文字の大き さや配列の整え方 を理解して書くこ とができる。 (3) エ (ア)</p>	2	<p>①教科書の例が読みにくい 理由を説明したり、複数 行の文字を書くときに気 をつけることについて話 し合ったりする。 ②文字の大きさと配列の整 え方を「書写のかぎ」で 確認する。 ③小筆で「夏山の……」を 書き、文字の大きさや配 列を確かめる。 ④白い紙に鉛筆で「夏山の ……」を書く。 ⑤自己評価・相互評価をす る。</p>	<p>【知・技】 ○適切な文字の大きさや配列の整 え方を理解して書いている。 【主】 ○進んで適切な文字の大きさや配 列の整え方を理解しようとし、 「書写のかぎ」を意識して書い ている。</p>

7	<p>[生活に広げよう] 手紙を書こう——お礼状 p.22-23 [用具] 鉛筆・ペン</p> <p>他国語</p>	<p>◎お礼の気持ちが伝わるように手紙を書くことができる。</p> <p>(3) エ (ア)</p>	1	<p>①手紙の形式を確かめる。</p> <p>②お礼状に書く内容を考える。</p> <p>③書写で学習したことを生かしてお礼状を書く。</p> <p>④自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】 ○字形や文字の大きさ、配列などに気をつけて、楷書でお礼状を書いている。</p> <p>【思・判・表】 ○お礼状を書くときに、学習したことをどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】 ○積極的に書写の学習を生かして、読みやすいお礼状を書こうとしている。</p>
3 読みやすく速く書く——行書①					
9	<p>読みやすく速く書くための動き p.24-27 [用具] 毛筆・鉛筆</p>	<p>◎行書の特徴を理解することができる。</p> <p>(3) エ (イ)</p>	2	<p>①教科書 P24～25 上段を手がかりに、行書を学ぶ意義を確かめる。</p> <p>②楷書と行書の形を見比べたり、文字をなぞったりして、形と動きの特徴を考える。</p> <p>③行書の動きのパターンを確かめる。</p> <p>④筆脈や行書を書くときの動きについて「書写のかぎ」で確認する。</p> <p>⑤行書の形の特徴を確かめる。</p> <p>⑥「書写のかぎ」や「動きのパターン」を生かして文字を書く。</p> <p>⑦自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】 ○行書の形の特徴と動きのパターンを理解している。</p> <p>【主】 ○進んで楷書と行書の形や動きの違いを見つけようとし、「書写のかぎ」を意識して書いている。</p>

10	点画の連続〈日光〉 p.28-29 [用具] 毛筆・鉛筆	◎点画の連続について、書くときの動きと連続の仕方を理解して書くことができる。 (3) エ (イ)	3	①行書の点画の連続の仕方と連続する理由について、書くときの動きを楷書と比べたり、文字を指でなぞったりして考える。 ②点画の連続の仕方と動きを「書写のかぎ」で確認する。 ③毛筆で書いて、点画の連続を確かめる。 ④「書写のかぎ」を生かして、硬筆でほかの文字を書く。 ⑤自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○行書の点画の連続について、書くときの動きと連続の仕方を理解して書いている。 【主】 ○進んで点画の連続について理解しようとし、「書写のかぎ」を意識して書いている。
11	点画の変化〈大空〉 p.30-31 [用具] 毛筆・鉛筆	◎点画の変化について、書くときの動きと変化の仕方を理解して書くことができる。 (3) エ (イ)	3	①行書の点画の変化の仕方について、楷書と比べたり、文字を指でなぞったりして考える。 ②点画の変化の仕方と動きを「書写のかぎ」で確認する。 ③毛筆で書いて、点画の変化を確かめる。 ④「書写のかぎ」を生かして、硬筆でほかの文字を書く。 ⑤自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○行書の点画の変化について、書くときの動きと変化の仕方を理解して書くことができる。 【主】 ○進んで点画の変化について理解しようとし、「書写のかぎ」を意識して書いている。
	行書のまとめ① p.32-33 [用具] 鉛筆	◎行書の点画の連続と点画の変化を理解して書くことができる。 (3) エ (イ)	適宜	①行書を書くときの動きを確かめながら書く。 ②行書の点画の連続を理解して、確かめながら書く。 ③行書の点画の変化を理解して、確かめながら書く。	【知・技】 ○行書の点画の連続と点画の変化を理解して書いている。 【主】 ○進んで学習したことを振り返ろうとし、点画の連続や点画の変化を意識して書いている。
	[文字といっしょに] 文字の移り変わり p.34-35 他社会 (歴史)	◎文字の移り変わりについて知り、文字文化への関心を高めることができる。 (3) エ (ア) (イ)	適宜	①漢字の篆書・隸書・草書・行書・楷書についての解説や平仮名・片仮名の解説を読む。	【知・技】 ○文字の移り変わりについて知り、文字文化への関心を高めている。 【主】 ○進んで文字の移り変わりについて知ろうとし、文字文化への関心を高めようとしている。

12	<p>[生活に広げよう] 年賀状を書こう p.36-37 [用具] 小筆・筆ペン</p> <p>他国語</p>	<p>◎行書の動きや形の特徴を考えて年賀状を書くことができる。 (3) エ (イ)</p>	1	<p>①年賀状を書くときに、書写で学習したことをどのように生かすか考える。 ②行書で年賀状を書く。 ③自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】 ○行書の基本的な書き方を理解して、年賀状を書いている。</p> <p>【思・判・表】 ○年賀状を書くときに、書写で学習したことをどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】 ○積極的に、これまで学習したことを生かして年賀状を書こうとしている。</p>
12	<p>[文字といっしょに] 書き初めをしよう 〈早春〉〈夢の実現〉 〈温故知新〉〈美しい縁〉 p.38,89-92 [用具] 毛筆</p>	<p>◎これまでに学習した楷書や行書の書き方を生かして、書き初めを書くことができる。 (3) エ (ア) (イ)</p>	1	<p>①これまでに学習した「書写のかぎ」をどのように生かすか考える。 ②書き初めを書く。 ③自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】 ○これまでに学習した楷書や行書の書き方を生かして、書き初めを書いている。</p> <p>【主】 ○進んでこれまでに学習した「書写のかぎ」を生かし、課題を明確にして書こうとしている。</p>
1 5 3	<p>[生活に広げよう] 職場訪問をしよう p.39-41 [用具] 各種筆記具</p> <p>他国語・キャリア学習</p>	<p>◎書写で身につけた力を生活のさまざまな場面で生かすことができる。 (3) エ (ア) (イ)</p>	3	<p>①「職場訪問」という場面設定で、書写で学習したことをどのように生かすか話し合う。 ②それぞれの場面で活用する既習事項や書式の書き方を、実例を見て確認する。 ③実際の場面を想定して、場面に合わせた書式で書く。 ④自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】 ○字形や文字の大きさ、配列などを考えて楷書や行書で書いている。</p> <p>【思・判・表】 ○場面や目的に応じて、書写で学習したことをどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】 ○積極的に、これまで学習したことを生かし、目的や場面に合った文字を書こうとしている。</p>
	<p>[文字といっしょに] いろは歌 p.42</p>	<p>◎「いろは歌」について知り、文字文化への関心を高めることができる。 (3) エ (ア)</p>	適宜	<p>①「いろは歌」とその解説を読む。</p>	<p>【知・技】 ○「いろは歌」について知り、文字文化への関心を高めている。</p> <p>【主】 ○進んで「いろは歌」がどのように親しまれてきたかを知ろうとしている。</p>
	<p>[文字といっしょに] 書いて味わおう 「少年の日の思い出」「竹取物語」 p.43 [用具] 鉛筆</p> <p>他国語</p>	<p>◎文学を書いて味わい、文字文化への関心を高めることができる。 (3) エ (ア) (イ)</p>	適宜	<p>①「少年の日の思い出」「竹取物語」の一節を書く。</p>	<p>【知・技】 ○文学を書いて味わい、文字文化への関心を高めている。</p> <p>【主】 ○進んでなぞり書きや視写に取り組み、文学を書いて味わおうとしている。</p>

	書写テストに挑戦! p.44	◎楷書の書き方や行書の基本的な書き方を理解することができる。 (3) エ (ア) (イ)	適宜	①書写で学習する事項に関する問題を解く。	【知・技】 ○楷書の書き方や行書の基本的な書き方を理解している。 【主】 ○積極的に、書写で学んだ知識を生かそうとし、テスト問題に取り組んでいる。
書写活用ブック					
	さまざまな書式 (手紙、ポスター、フリップ、新聞、リーフレットほか) p.(2)-(14)	◎さまざまな場面にふさわしい書き方や、情報のまとめ方を理解することができる。	適宜	①手紙、ポスター、フリップ、新聞、リーフレット、原稿用紙などの書き方について、解説を読む。	
	常用漢字表、人名用漢字表 p.(15)-(35)	◎常用漢字、人名用漢字の手書きの書き方を理解することができる。	適宜	①常用漢字 2136 字・人名用漢字 863 字の楷書体と行書体を一覧する。	
	行書の部分の形 p.(36)-(37)	◎行書の部分の形の違いを理解することができる。	適宜	①行書の特徴や、書くときの動きに注意して書く。	
	五十音表 (平仮名・片仮名) p.(38)-(39)	◎平仮名・片仮名の書き方を理解することができる。	適宜	①歴史的仮名遣いを含む平仮名 48 字・片仮名 48 字の楷書体と行書体を一覧する。	
	ノートの取り方・レポートの書き方 p.(40)-(41)	◎ノートやレポートのふさわしい書き方を理解することができる。	適宜	①見やすいノート、レポートの書き方を確認する。	